



平成 29年度第 5 回理事会議事録

公益社団法人 静岡県栄養士会

開催日時 平成 29 年 12 月 3 日(日)13:00~17:40

開催場所 静岡県栄養士会事務所

出席役員 ○出席 ×欠席

職域事業部	会長	副会長	〃	学校	〃	公衛	〃	研究	〃	勤労	〃
氏名	坪井	岡本	新井	渡瀬	長谷川	赤堀	大瀧	篠原	小嶋	福山	矢ノ下
出欠	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×
職域事業部	地域	〃	〃	〃	医療	〃	〃	〃	福祉	〃	〃
氏名	若林	石垣	池谷	原田	久保田	古橋	渡邊	鈴木	寺田	諏訪	田森
出欠	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
監事	秋谷	紅林									
出欠	×	○									

開 会 定刻に至ったため、岡本副会長が出席理事を確認、出席者が過半数に達しているので理事会が成立する旨を報告し、開会を宣言する。

議 長

定款第 30 条第 1 項に基づき坪井会長がこれにあたる。

書記の選出

議長により、本理事会の書記に、学校健康教育事業部の長谷川理事と地域活動事業部の池谷理事が指名された。

1 会長あいさつ

今年度も 2/3 の事業が終わり、皆様のお蔭で特別トラブルもなく順調です。超高齢社会を迎え、管理栄養士・栄養士に対する期待がよせられている。生活習慣病の予防に関しても、昔以上に切羽詰まったところで種々出てきている。専門職団体として栄養士会がどのような対応をしていくかが世間から見られている時代だと言える。この理事会は各事業部を代表として集まっていたので、各事業部がどのように事業に取り組んでいるかを、会員の方に広く知っていただけるよう伝えてほしい。先日、理学療法士会の公益社団法人設立の会に出席した、多くの出席者が参加し、会員入会率 93% と勢いもありとても良い会だった。

国民に、栄養士会は期待されている。それに答えなければいけない。栄養ケア・ステーションにオフィサーも来ているが、それに応えられる土台が必要、こういう事ができますと広報し、成果を上げて行くことが必要である。

大きな問題として、2025 年問題が騒がれているが、2040 年問題も取りざたされ始めた。この時代になると高齢者、後期高齢者が 4 人に 1 人になる。水際まで高齢社会の問題が来ている。2040 年へこのままのシステムで向かうと、若い世代の給料の 7 割を社会保障に充てないとやっていけなくなる。そ

ういう心配をしている学者の方もいる。高齢になっても、医療費・介護費を使わないでいられるよう、管理栄養士・栄養士に頑張ってほしい。人口減少と共に市や町がやっていけなくなるということが、加速度的に起こってきている。県市町が人員整理をしようとしているその時に、管理栄養士・栄養士は必要だという事を示していかないといけない。自分たちの職業が国民を守るのだと強く思い、広域的にエビデンスを出す事が大事、それは、管理栄養士・栄養士ライセンスを持っている人は皆会員になり、栄養士会の旗の下に結集すれば良い結果が出せる。

2 前回議事録の確認

- ・第4回理事会議事録は、全会一致で承認された。

3 代表理事の業務報告（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第91条第2項）

(1) 会長

10/24	第1回地域包括ケア推進ネットワーク会議	ホテルアソシア
10/25	静岡県健康福祉大会	グランシップ
10/27	第3次ふじのくに健康増進計画会議	県庁別館9階会議室
10/28	静岡高血圧学会「減塩フォーラム」	AOI 7階ホール
11/3	静栄研修「指導者のための健康・栄養セミナー」	ニッセイ静岡ビル
11/3	静岡県理学療養士会公益法人設立記念祝賀会	ホテルセンチュリー
11/5	8020 推進静岡県大会 in 島田	プラザおおるり 島田
11/10	静栄選挙管理委員会	静栄事務所
11/11	静栄DAT運営会議及びDAT研修会	あざれあ
11/18	在宅介護者食生活支援研修会	県総合健康センター 三島
11/18	志太地区栄養士の会	藤枝
11/20	日栄業務規範検討会議	日本栄養士会事務所会議室
12/2	特定保健指導からの糖尿病予防研修会	あざれあ

(2) 岡本副会長

10/22	栄養管理 研修会 日本大学三島校舎	座長
11/3 日	指導者のための健康・栄養セミナー	ニッセイ静岡駅前ビル 座長
11/18 日	日本栄養士会 医療事業部会議	

(3) 新井副会長

11/3	第2回 研修部運営会議および指導者のための健康・栄養セミナー	事務局・ニッセイ静岡駅前ビル
11/11	第12回静栄 DAT 運営委員会	あざれあ
11/12	第2回日栄生涯教育委員会	日本栄養士会事務局

4 報告事項

(1) 研修部

- ◆ 11/3（金） ニッセイ静岡駅前ビル 大塚製薬委託事業（担当：東部 参加予定理事）

《指導者のための健康・栄養セミナー》(スポーツ栄養)

講演1「女性アスリートのためのスポーツ栄養学」

神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 教授 鈴木志保子 先生

講演2「ジュニアアスリートと栄養士 —食事・睡眠・運動—」

中京大学スポーツ科学部 競技スポーツ科学科 教授 湯浅 影元先生

参加 109名

- ・参加者の100%がセミナーへの満足度に対し、「満足」と回答。
- ・セミナーの内容がためになり、講師の先生のお話が分かり易かったという理由が多数。
- ・鈴木先生のお話が面白くとても参考になりました。まだぜひセミナーをやって頂きたいです。
- ・湯浅先生は栄養以外の話で沢山教えてもらえ、今までとはまた違う視点を持つことが出来ました。
- ・わかりやすく、楽しかったです！聞いていてあっという間に時間が経ちました。
私は栄養士ではないですが勉強になりました。

(2) 在宅介護者食生活支援研修会報告(福祉・地域・公衆)

- ・日時・会場：11/18 13:30~15:30 静岡県総合健康センター(三島市)
- ・参加者：15人(一般2、ケアマネ・介護支援専門員・保健師等8人、管理栄養士5人)
- ・内容：
第1部 ミニシンポジウム コーディネーター 静岡県健康増進課技監 佐藤圭子氏
「高齢者の食の課題と取組」三島総合病院 管理栄養士 荻野由夏氏
「在宅における食に関する資源の活用例」大仁地域包括支援センター介護支援専門員 伊東澄子氏
第2部 体験してみよう
①食べる機能を守る口腔体操 日本歯科衛生士連盟東海北陸ブロック理事歯科衛生士 村松美枝子
②とろみのつけ方と食事の形態 寺田理事
- ・介護現場の方の参加が多く、栄養士はもっと現場に出てきて欲しい、といった意見も聞くことができ、大変有意義な研修会となった。口腔体操では笑いも起こり、とろみのつけ方や試食も楽しそうに取り組んでいた。今回2時間に設定したが、ミニシンポ、体験の両方とも、もう少し時間をとって良かった。一般の方は、研修会終了後、相談をして帰られたので、相談の時間を設けてもいいかもしれない。

(3) 福祉事業部報告(寺田理事)

①10/21 全国福祉栄養士大会に出席

寺田理事、関 明子会員出席

②10/28 福祉寺子屋：中部(寺田理事)

(内容)

参加者：神谷・早川・増田・望月・田森・寺田(6名)

1). 趣旨説明

- ・仲間作りが大切であって、日頃から相談できる環境を栄養士会がバックアップしたい。

- ・地域ごとに開催することによって、少しでも参加しやすくした。

2). 参加者自己紹介

特養 2 老健 2 デイ 1 養護 1

3). 全国大会の報告 (寺田)

- ・来年度の医療介護同時改定に向けての作業について厚労省の塩澤課長補佐よりお話を伺った。
- ・主には地域包括ケアシステムの充実に向けて動きが出てきている。配食サービスのガイドラインも今年 3 月に発表され、地域での更なる拡大が期待されるようだった。
- ・施設関連については、6 月 7 日の介護給付費分科会で議論されており、栄養士会からも資料の提出があった。詳細については HP にて閲覧可能。

4). 全体での話し合い

- ・配食サービスについての共通理解を図った
- ・栄養マネジメントについて
- ・人材について (厨房、栄養士、介護なども)
- ・監査の対応について
- ・災害時の対応について

(4) 静栄 DAT 事業報告 (寺田理事)

①11/11 平成 29 年度災害時食支援スタッフ養成研修会開催

講義 26 名 演習 26 名参加

②11/11 第 12 回静栄 DAT 運営委員会を開催

平成 29 年 11 月 11 日 (土) 10:00~12:00 場所: あざれあ大会議室

出席者: 坪井厚・新井英一・寺田直哉・小川保人 (公衆衛生)・戸井口淳子 (公衆衛生)・
大野真千夫 (医療)・渡邊潤 (医療)

欠席者: 岡本康子・梅木幹子 (医療)

1) 会長挨拶

- ・危機管理部からの情報
- ・地域へ発信を進めよう

2) 報告事項

◆前回会議内容確認

◆前回からの活動状況

- ・6/7~ メール会議 1・2 を実施 (リーダー研修派遣、リーダースキルアップ研修の件)
- ・7/29 長野県 DAT 研修会に講師として派遣 (寺田、栄養 CS 事業)
- ・8/8 そなえざあ静岡 B C P 研修会に講師として派遣 (寺田、栄養 CS 事業)
- ・8/25 東部婦人センター運営協議会講習会に派遣 (寺田・池谷、栄養 CS 事業)
- ・9/13 県西部食支援担当者連絡会に講師として派遣 (渡邊、栄養 CS 事業)
- ・9/25 JDA-DAT 緊急時連絡シミュレーション実施
- ・9/25 リハビリ 3 団体との研修検討会に参加 (寺田) →11/2 会議に参加
- ・9/30 10/1 第 7 回 JDA-DAT リーダー研修会に参加 (池谷・杉山・仲田)
- ・10/31 危機管理部より南海トラフ地震に関する情報伝達体制について

◆予定

- ・H30 1/21 (日) 平成 29 年度浜松医科大学社会貢献事業市民公開講座 (後援)
- ・ 同日 リハビリ 3 団体との研修会開催 (後援予定) (地震防災センター)

3) 協議事項

◆スタッフ養成研修会

司会：戸井口 会場準備：全員 受付：渡邊・大野 HUG 進行：寺田・小川
接待：坪井・新井 賛助会担当：寺田

◆30 年度活動予定

- ・会議 2 回 4 万×2
- ・研修会 1 回 (半日程度を予定) 6 万
- ・リーダー派遣、(スキルアップ研修会)
→来年度は愛知会場になるようなので、西部の方を中心に案内する。 6 万
- ・リーダー交流会→会議後に実施
- ・連携強化訓練/情報発信強化 (メール・ラインなど) →地区を中心に活動を増やす

◆スタッフ管理について (登録・名札・ジャンパー等)

- ・会員管理を事務員と共に進めていく

◆構成メンバーについて (来年度から)

3 役、担当理事、県庁担当者、ブロックリーダー、サブブロックリーダー、事務員で構成する

4) その他

- ・次回開催日 平成 30 年 5 月 19 日 (土) 予定 ※現在第 3 土曜日で調整中
- ・静岡県栄養士会における災害対策マニュアル作成
→家具の固定も含め早急に依頼 (事務局と副会長に確認する)
- ・アナウンス用資料を作成し、発信していく (寺田作成) →修正案を提示する
- ・熊本地震活動報告書あり
- ・第 3 回栄養士大会に D A T ブースを出展する (2/10)

(5) 広報部 (池谷理事)

【メール部会 報告】

おすすめメニュー整理について ①で賛成が得られた

① 古いメニューは、栄養価を削除して、写真と作り方だけ別ページに載せる。

②30 年 31 年の募集テーマについて 次回部会で再度協議

糖尿病基礎食に基づいた 1 食のメニュー

高齢期の食事

厚労省の HP にスマートライフプロジェクトがあり、スマートイート (1 日プラス 70g の野菜を) というがあるので、野菜を使った 1 品というのはいかがか。(幅が広すぎるかもしれないが…。)

柔らかくて食べやすく栄養満点メニューベスト 10

一皿で栄養満点メニュー

地場産品活用メニュー

食物繊維たっぷりメニュー

減塩は一般の方にもわかりやすいので継続でよいのではと思う。

一人暮らしでも作れる栄養満点の時短メニュー

ベジファーストしやすいメニュー

地産地消（しずまえ部門、おくしず部門、フリー）

コンテストスケジュール、およびHP掲載にあたっての確認作業

※次回部会で詳細について協議することとした。

③コンテストの詳細について ・運営スケジュール1月原稿締め切り

2月末までに計算等のおすすめメニューの確認、チェック

賞品等の購入 1万円以内（ 担当者 ）

コンテスト準備（投票用紙作成 等）（・担当者 池谷 ）

コンテスト当日 集 計： 理事が行う

▶ 応募があったメニューをHPに掲載するにあたり

◇応募作品の確認作業 : (おすすめメニュー担当者)

◇エボリューションにデモ版依頼 ・デモ版の確認 : (今年度と同様に担当者)

◇HP掲載 集計・総会時発表 (理事)

◇HP報告書作成 (長谷川理事)

④総会時のスライド作成依頼 次回部会で再度協議

(6) 地域活動東海北陸ブロック研修会（池谷理事）

11月11日（会場：三重県総合文化センター）

各県活動報告

①栄養士の行う食育活動について～幼児食農教育における食育活動～

(ア) 野菜の苦手な子供でも、食と農の体験を通じて興味を持ち食べる事ができるようになる子供が増えた

②小規模企業栄養士の生きる道

(イ) 小中学校の肥満予防を行い4年目 50%以上の改善ができている

(ウ) 特定保健指導は部分委託で行っている

③減塩に向けた取り組み

(エ) 健康増進のしおりを使い自己チェック表を活用し事業を行っている

(オ) 出汁を使った体験が必要で減塩につながる

講演

「高齢者糖尿病患者における血糖管理及び合併症について」

予備軍が減少、DMの患者は増えている。

年代別男女別にすると、60代70代の高齢者の患者さんが増えてきている。

一般的には合併症を防ぐために、HbA1c 6.2% 血圧<120 LDL<80 の強化療法で合併症が減少した。

DM患者における減塩指導は、合併症を防ぐうえで重要

高齢者の場合糖尿病ガイドラインを使い管理していく。

フレイル・サルコペニア・認知症が複雑に絡み合っているため血糖管理が難しい。

また、HbA1cが7を切る場合、認知症のリスクが上がるため低すぎる管理も問題がある。

意見交換会

県栄養士会のマークについて、会員増について

(7) 第1回選挙管理委員会報告（事務局）

11月10日（金）18：00～19：00 第1回選挙管理委員会開催

①坪井会長より、選挙管理委員の任命

委員4名： 奈良和幸（再任：医療）、大橋路代（再任：地域）

清水洋子（再任：地域）、阿部節子（再任：福祉）

②選挙管理委員長の選出：互選により、奈良和幸委員を委員長に選出

③選挙に係る日程及び業務の検討

【資料参照】

選挙のスケジュールの確認をおこなった。

理事は、次の後任理事をきちんと出していただく。また選挙の投票はがきをきちんと出すように会員に伝えていただきたい。

(8) 平成30年度予算申請のとりまとめ状況報告（事務局）

30年度の予算について事務局より説明

1月になれば、もう少し詳細についてわかるため、現時点で記入漏れがないか確認。

増額減額のある部分については、情報交換し、個別に相談させていただきたい。

予算は管理費と事業費、事業は公1公2で構成されている。

ヒアリングの時間をとるなど調整していただきたい。

(9) 学校健康教育事業部リーダー研修及び全国研修会参加（長谷川、渡瀬理事）

平成11月24日（金）リーダー研修会 東京ガス厨BO!SHIODOME

25日、26日（土日）全国研修会 東京家政大学

(10) 研究教育事業部（小嶋理事）

研修会開催2月18日（日）10：30～16：00

演題「多様なニーズに対応できる管理栄養士・栄養士のための調査研究のはじめ方」

会場：東海大学 短期大学部 542講義室

講義：90分 演習：研究計画の作成 180分

研修会に関して、無料で行う予定。

(11) 栄養ケア・ステーション事業報告 (久保田理事)

① 業務受託状況

特定保健指導 23 件、病態栄養指導 15 件、介護支援 18 件、食育支援 83 件、食と健康支援 21 件、計 160 件

② 職業紹介事業

求人件数 27 件 新規求職者数 8 名、紹介者数 4 名、雇用契約成立 4 件
(有効求人 35 件、有効求職者 22 名)

③ 平成 29 年度 第 1 回栄養ケア・ステーション担当理事会議 (報告)

日時・場所：10 月 5 日 (日) 10:00～13:30 静岡県栄養士会事務所

出席者：久保田栄養 CS 部長、鈴木栄養 CS 副部長、小嶋栄養 CS 担当理事、石垣栄養 CS 担当理事、鈴木栄養 CS 事務局

※登録者の再調査又は更新についてどのようにするのか、1 月の理事会で提案していく。

④ 静岡市内の在宅医療支援診療所より依頼 意見交換会

日時・場所：11 月 20 日 (月) 15:30～16:45 静岡県栄養士会事務所

出席者：静岡ホームクリニック 内田院長、望月看護師、小山介護福祉士
栄養士会 久保田理事、鈴木理事、鈴木栄養 CS 事務局

診療所の方から、診療所の栄養指導をどうするか話があったため意見交換をした。

ケアステの方で、派遣に向けて協力してやっていこうと思う

1 月に会議を持とうと言う事になっている

栄養ケア・ステーションの拠点を、東部にも西部にも作ろうと考えている

⑤ 栄養 CS 「静岡市あそび子育ておしゃべりサロン事業」内容検討会

日時・場所：11 月 29 日 (水) 15:00～17:00 静岡県栄養士会事務所

出席者：久保田栄養 CS 部長、村松路子、渡邊恵美子、成澤好美、大村雅子、鈴木栄養 CS 事務局
現在 8 人がこの事業に携わっている。この事業について年々園からの希望が少なくなっている。担当者自身も少なくなっていることを懸念している。事業報告チラシを作成したり、テーマ設定を再考したりし相談する。個人のレベルアップの必要があるのではないかと考えている。

坪井会長：静岡市の食育部会での話し合いでも、いろんな団体から報告があり、静岡市がまとめている。食推協に頼る団体が増えている。その会に参加した折に、分厚い資料を見て、委員の方から、A4 サイズ 1 枚でも理解できる物の方がいいのではないかという意見があり、良い会議だった。会議の中でも色々意見が出されていたが、栄養士会として何ができるか考える必要がある。食推協とも協力ができれば良いと思う

(12) その他

5 協議事項

(1) 研修部 (渡邊理事)

①第3回栄養士大会（2018/2/10）について 承認された

平成29年度 第2回 研修部運営会議 議事録参照

今回午前中研修会、午後からポスター発表を行う

昨年アンケートから、2部屋同時進行で行い、参加者は自分の聞きたい内容に的を絞って行っていく。聞けなかった内容については、一定時間演者にいてもらい、質問等を聞いていただくようにする。

パネル25ポール45本借りてあるが、演題締め切りが来週なので、そのあと調節する。

応募が3演題でている。賛助会員はこれから依頼する

各事業部3演題お願いしている。今年も、情報提供で、広報部、DAT、栄養ケア・ステーション、研修部についてお願いしたい。昨年ポスター発表に賞を付けたので今年も同様に行い、レポートを出した方は0.5単位の単位認定を行う。

坪井会長：ポスター発表に関して、高齢者の取り組み等地域活動の方に出していただきたい、元理事の木下さんなどできるのではないかと、問い合わせしてほしい。

食育や食物アレルギー、高齢者関係のような注目される内容を取り上げることも大事。関わっている方に発表するように促してほしい。

大会の目的の1つとして、若い方が自分たちの仕事をまとめる機会にすることも1つだったので、外に向けて行うとなると、若干の熟練度が必要かと考えるがどうか。

きちんと仕事をしている方ならできるはず、みんなが関心のあるテーマを発表してもらおう事も必要だと思う。栄養士自身も知ってもらう必要もあるし、そういう方の発表も必要だと思う。

発送は12月11日の週になる予定なので準備を進める。

間に合えば応募があった部分のチラシを作成する、間に合わなければホームページで発表する。

坪井会長：食品表示など委託事業も今年度終わったので、発表してもよいと思う。

協力して進めていきましょう。

以上、全会一致で承認された。

②H30.3.11（日） 生涯教育基本研修

静岡県男女共同参画センターあざれあ 大会議室

新井先生が作成中DVDを使い、基本研修を進める。

以上、全会一致で承認された。

③平成30年度 定時総会

開催日：6月9日（土）

総会会場：静岡県男女共同参画センターあざれあ 大ホール

展示会場：小ホールと501会議室（定員99人）を仮予約

講師（案）検討：講師の先生について、価格込みで1月に再度提案する。

以上、全会一致で承認された。

④平成 30 年度 生涯教育実務研修

平成 30 年度の計画に向けての調整（案）

平成 29 年度と同等の単位数の研修会を企画したい

6 月 9 日（土） 総会 講演会

7 月 28 日（土）足立佳代子先生 医療 2 単位

8 月 25 日（土）「これからの学校の食育研修会」 赤松利恵先生 学校 2 単位

9 月 29 日（土）吉田貞夫先生 高齢者 医療 2 単位

10 月 28 日（日）認知症 土井雄彦先生 医療・（研究教育）2 単位

11 月末または 12 月初め 吉田隆子先生 地域・公衆・勤労 1 単位

2 月 栄養士大会 1 単位

未定 研究教育 2 つ予定 1～2 単位 1 つは、個人差が多くて共通の媒体があると意見があり、受益者負担で行う予定

認知症については、今色々研究が進められている先生がいる

DAT、25 周年記念式典について日程調整が必要

研修会開催時期について開会日がタイトで重なっているため、4 月以降にもう少し調整して行うことができるか？ 予算が通れば行う事は可能である。

賛助会員の展示について、研修会がタイトにあると断られることがあるため、事前に研修計画の周知が必要である。

以上、全会一致で承認された。

⑤平成 30 年度 生涯教育基本研修

・（日栄資料～）（DVD 販売）販売項目：以下 5 項目（4-4, 4-5 については 2 項目で 1 組）

・ 1. 専門職としての役割と倫理綱領、・ 4-2. 栄養スクリーニング

・ 4-3. 栄養アセスメント、・ 4-4. 栄養診断・ 4-5 栄養診断にもとづいた管理計画（栄養介入）

・ 価格：1 枚 1,000 円（税抜）※本会から各都道府県栄養士会への卸売価格。

各会員への販売価格については、各都道府県栄養士会にお任せ。

⇒・研修部としては、個人販売については、1 枚 1,500 円（1,000 円+手数料）を提案

・運用は、静栄の DVD の運用方法を参考に（資料参照）

※ただし、DVD の販売については、12 県しか申し込みがないので、今のところ日栄は保留としている。（基本研修について、ある程度実施できるものについては、クラウドで行っていくのはどうかという意見も出た。）

演習については別途開催していく

4-4 と 4-5 は 1 枚に入っていて、4-3 は 3 時間という内容で、どちらも 1,000 円で販売する予定であり、整合性がとれていない。会員のメリットとして YouTube で受けられるようにしたらどうかという意見も出ている。

7 月 28 日（土） 29 日（日）で栄養の日について、全国の栄養士が集まり行う。

生涯教育のブースで、1 日を通して行うという案も出ている。

8 月 4 日栄養の日は、各県で行う方向で、依頼が来る予定。

結論は、諮問会議後に出る。

坪井会長：県民に対して、何を行うか案を練っておく必要がある。

(2)「在宅介護者食生活支援研修会」の平成30年度の計画について（寺田理事）

来年度についても、公1の事業で行っていきたい。

実際に介護している方の参加もあり、他職種にも入り実施した。今回3事業部で行ったが今後についてどう行っていくか。

県全体に広めていくことについて、次回は西部や静岡など東部以外で実施してはどうか 栄養士会として行うこともできるが、行政の力を借りて行うことができればいいと思う。

坪井会長：当日、病院の発表もあったり、ケアマネも参加したりしてよかったと思う。3事業部でうまく連携を取りながら、1度行ったところは継続して行い、経年的に続けていくなど広げていけるとよい。まだ出来ていない所があれば、そこに入っていく必要がある。出来ている所には、栄養士が入っているか調査をして、入っていないところに入っていけるとよい。地域で調べながら事業を進めていく。

以上、全会一致で承認された。

(3)後援依頼について（静栄 DAT：寺田理事）

- ・ H30 1/21（日）平成29年度浜松医科大学社会貢献事業市民公開講座（後援）
- ・ 同日 リハビリ3団体との研修会開催（後援予定）（地震防災センター）

以上、全会一致で承認された。

(4)災害支援県民普及事業の県民向けパンフレット配布について（静栄 DAT：寺田理事）

別紙資料添付

配布先の確認、管理方法は？

どのように配布するか、県の委託事業と関連づけ予算取りできるかを含め、県民に周知するためにどのようにアピールしていくかなど内容については慎重に進めていくこととする。

以上、全会一致で承認された。

(5)会員の承認について（岡本副会長）

新入会員 3名、全会一致で承認された。

未納者に声掛けをして、会員を続けるように声掛けをして欲しい。

休会制度について、まだ県栄では整っていない。介護については期限等の判断が難しいのではないかと。

(6)賛助会員の承認について（岡本副会長）

株式会社 伊藤園 生産本部 生産本部長 坂下信行（牧之原市女神 21）

以上、全会一致で承認された。

(7) その他

① 生涯教育のキャリアノートについて

在庫が 200 冊ある。27・28 年については配布されていたが、日栄は 29 年度の新入会員には配布していないので、124 名の新入会員に配布することとして、今回発送通知に同封する。

以上、全会一致で承認された。

② 静岡県栄養士会 25 周年式典について

(案) 日時 第一候補 11 月 10 日 (土) 第二候補 11 月 17 日 (土) に決定

人数 150 人程度予定。

受益者負担で行う。

以上、全会一致で承認された。

② 記念誌について

(案) 中はカラーにし、賛助会員の広告含め 130 ページ、1700 部作成予定。

会員全員に渡すようにしたい。

記念誌の作成について予算は未定。積立金の 150 万円を使い作成予定。

祝辞に関してはリストにある方をお願いしたい。リストの中の「1」を書いている方については記念誌を作る方に協議していただきたい。掲載内容は、一覧にある内容で進めていきたいが、ワーキンググループの方で協議していただきたい。次回までに見積りの準備をしたい。

坪井会長：記念誌は、次世代の方に記録を残すため、特色あるものにしたい。静岡県らしいもの、魅力あるものを作りたい。別途、特集があれば提案していただく。事業部会別に、記念誌の記事をお願いする。今後の予定については、会の先輩方にも協力していただき作成していく。

静岡県栄養士会のロゴマークなど募集してはどうか、賛助会員（10 年以上継続）の方に感謝状を差し上げる。

以上、全会一致で承認された。

6 連絡事項

(1) 平成 30 年度会費納入依頼等について

会費納入依頼、お友達紹介制度について、会員に通知する。

口座引き落としを進めていくなど、今後会費納入について検討していく。

7 その他

(1) 研修会費の講師について

講師の費用が 3 万円を超えるときには、会員に実情をしっかりと伝え、研修料をいただくなど、考えるときがきているのではないかと。講師によって、無料と受講料を徴収する研修会とわけたらどうか。資料の枚数、カラーかどうかで、資料代をいただいた方がいいのではないかと。

全国的に講師料は上がっているはずなので、他県の様々な面を調べ、見直していく必要がある。

研修部会で検討し報告をしていただきたい。

(2) 来年度研修会について

5月19日(土) 静栄DAT会議 リーダー交流会

9月8日(土) DATスタッフ研修会

在宅介護支援研修会は、あらためて調整する。

(3) 日栄のよりソリプロジェクトについて

静岡県は東海北陸ブロックの7県の中で調整を取って、ワーキングメンバーを出し研修を受けてくる。(12月16日(土)研修を受けた。)受けたメンバーが来年度の生涯学習研修会の中で行っていく。30年度この事業を進めていくことになった。

8 確認事項

(1) 行事日程の確認について

1月20日(土) 理事会

午前中に顕彰選考委員会の会議をするため、メンバーは参加していただきたい。理事会が午後だが、ヒアリングが必要な方は午前中に個別に来ていただきたい。栄養ケアステの会議を予定していたが、日程について再度検討する。

(2) その他

特になし

以上

この議事録が正確である事を証するために、会長及び副会長並びに監事は記名捺印する。

平成29年12月3日

公益社団法人 静岡県栄養士会

会長 坪井厚 

副会長 岡本康子 

副会長 新井 一 

監事 紅林真佐代 